

LTO7 15TB WORM データカートリッジ (C7977W)

テープメディア



新機能

- 容量の大幅な増加 - LTO-6のネイティブ容量と比較して620%増 (LTO-9は18TBに対してLTO-6は2.5TB)
- パフォーマンスの大幅な向上 - LTO-8の2.7TB/時に対して、LTO-9 (フルハイトのみ) を使用した場合は最大3.6TB/時の保存が可能。
- 内蔵型AES 256ビット暗号化

概要

HPE LTO Ultriumカートリッジは、低コストかつ信頼性と拡張性に優れた保護機能によって、サイバー攻撃やランサムウェアの脅威からデータを保護し、データリストア時に求められる信頼性にも対応します。これにより、企業は世界中の法執行機関からの勧告に準拠しつつ、データのオフラインでのコピーを維持できます。9世代のレガシーを基盤とするLTO-9の転送速度は最大3.6TB/時で、あらゆる予算に対応するプラットフォームが用意されています。安全なAES-256暗号化により、データセキュリティ

(IEEE1619.1) (LTO-5、LTO-6、LTO-7、LTO-8、LTO-9) - FIPS140-2レベル1認定の付与済み

を高めて厳格な業界規定に準拠することで、データへの不正アクセスを防ぎます。HPE StoreOpenおよびリニアテープファイルシステム (LTFS) により、テープに優れた互換性と移動性を与え、簡単に使用できるようにします。これにより、USBドライブなどの自由に取り外しと共有が可能なメディアのようにテープを使用できます。また、LTOカートリッジの保存時に必要な追加の電力と冷却は最小限で済むため、環境に優しく、より持続可能なデータの長期アーカイブソリューションが実現します。

機能

データをオフラインにすることでサイバー攻撃から保護する、信頼性に優れたオフラインメディア

米FBIなどの機関は、データをオフラインで保存することを推奨しています。これは、オフラインで保存されたテープはネットワークに接続されていないため、デジタルネットワークを使用して企業に攻撃を仕掛け、プライマリデータとバックアップの両方を暗号化する高度な知識を持つ犯罪者が、テープにアクセスできないからです。

内蔵型AES 256ビット暗号化 (LTO-5~LTO-9で対応) により、テープに保存されたデータのセキュリティが強化されます。このLTOの暗号化 (WORMカートリッジの使用により強化) により、テープが悪意のあるユーザーの手に渡った場合でも、データは未許可アクセスから保護されます。

長期アーカイブのTCOの最小化を実現

2020年8月に発表されたESGのホワイトペーパー「アクティブなアーカイブ保管としてのHPE StoreEverの経済的メリット」によると、LTOテープテクノロジーは、年間10%増加する1PBのアーカイブに対して、オールディスクソリューションやオールクラウドソリューションと比較して、10年間でコストを80%以上削減できます。

HPE LTO Ultriumの標準化により、スペースの追加やITリソースのオーバーヘッドなしで、バックアップ時間の短縮、業界標準AES 256ビット暗号化 (IEEE1619.1)、互換可能なRWまたはWORMメディアを実現します。

オープンスタンダードテクノロジーにより、製品世代間での互換性が確保され、より多くの選択肢が提供されます。HPE LTO Ultriumカートリッジには、カスタムラベルと非カスタムラベルがあります。

同等のテープテクノロジーの中で最大容量および最高パフォーマンス

HPE LTO-9 Ultriumデータカートリッジは、非常に高速な3.6TB/時の速度でデータを読み書きできます。1本のカートリッジで最大45TB*のデータを格納、暗号化、保護し、大規模かつ24時間年中無休で稼働するミッションクリティカルなIT環境に最適な製品です (*2.5:1圧縮時を推定)。



トラック数35%増加とビット密度3%増加により、LTO-8の30TBからLTO-9の45TBまで、容量増加が可能になりました。LTO-6の2,176トラックから第9世代HPE LTO-9 Ultrium 45TBカートリッジ (圧縮率2.5:1を推定) の8,960トラックに増加しています (311%の改善)。

高信頼性のストレージメディア

テープはEnterprise SATAディスクよりも高い信頼性を備えています。LTO-8の場合、ビットエラー率 (BER) は10の19乗で、Enterprise SATA HDDの場合、BERは10の15乗になります。これは4桁の信頼性の差です。例えば、テープはEnterprise SATA HDDより10,000倍信頼性が高いのです。

1エクサバイトのアーカイブで10年間で推定されるデータ損失は、HDDの場合は1.1ペタバイト、テープの場合は7.4テラバイトになります。

HPEブランド認定試験の手順 (ロード/アンロード、シューシャインテスト、ドロップテスト、環境負荷テスト) は、HPE LTO Ultriumの要求基準をはるかに超えた内容になっています。このため、どのような状況でもデータを復元する確かな信頼性があります。

優れた「Smart Grabber」メカニズムおよび機械式インターロックは、リーダーピンがテープケース内に引き込まれることを防止します。センサーが正しい連結を検出し、テープの破壊をまねくリーダーの消失を防止します。簡素化されたテープパスは、摩擦しにくく頑強で、デブリの量を削減します。これはテープオートローダーにおいて重要な機能です。



技術仕様

LTO7 15TB WORM データカートリッジ

Product Number	C7977W
レコーディング・テクノロジー	LTO-7 Ultrium
容量	カートリッジあたり最大 15TB (2.5:1圧縮時)
メディアフォーマット	追記型
メディアラベル印刷	なし
パッケージ当たりの数量	20
ビット密度	485kbits/インチ
保存期間	30年
テープ長	960m
テープ幅	12.65mm
テープの厚み	5.6um
基材	バリウムフェライト
データトラック	3584
製品の寸法 (メートル法)	11.3×11.1×2.1cm
重量	0.28kg
標準保証	なし、初期不良のみ交換対応



[追加の技術情報、使用可能なモデルとオプションについては、QuickSpecsを参照してください](#)

HPE POINTNEXT SERVICES

HPE Pointnext Servicesは、テクノロジーと専門知識を結集して、お客様のビジネスを前進させ、将来への備えを支援します。

HPE Pointnext Servicesの各種運用サービス

HPE Pointnext Tech Careは、製品に特化した専門家への迅速なアクセス、AI主導のデジタルエクスペリエンス、一般的な技術指導を提供し、継続的なイノベーションを可能にします。より迅速な対応と、より大きな価値を提供するために、ITサポートをゼロから再構築しました。単なる故障の修理とは一線を画しており、より優れた方法を常に探し続けることで、HPE Pointnext Tech Careはビジネス目標の達成にお客様が集中できるようサポートいたします。

HPE Pointnext Complete Careは、総合的なアプローチでIT環境全体を最適化する、エッジからクラウドまでのモジュール式IT環境サービスであり、顧客中心の個人化されたエクスペリエンスを通して、同意されたIT成果とビジネス目標を達成します。これらのサービスはすべて、HPE Pointnext Servicesの専門家チームが担当いたします。

HPE統合およびパフォーマンスサービスでは、個々のニーズ、ワークロード、テクノロジーに基づいたサービスメニューにより、製品ライフサイクルのどの段階でもお客様がユーザーエクスペリエンスをカスタマイズできるようサポートします。

- アドバイス、設計、変革
- 展開
- 統合と移行
- 運用と改善
- 金融サービス
- GreenLake管理サービス
- 廃棄とサニタイズ
- ITトレーニングと自己啓発

その他の関連サービス

HPE Education Servicesは、デジタルトランスフォーメーションに必要なスキルを伸ばそうとしている従業員の皆様の包括的なサービスで支援します。ご不明な点やサポートオプションの詳細については、HPEの営業担当者または認定チャネルパートナーまでお問い合わせください。

Defective Media Retentionは、不具合によってHPEが交換したディスクまたは対象となるSSD/フラッシュドライブを保持できるオプションサービスです。

HPE GREENLAKE

HPE GreenLakeは、IT-as-a-Service市場をリードするHPEのソリューションです。統合型運用モデルにより、データセンター、マルチクラウド、エッジなどの場所を問わず、アプリケーションやデータをハイブリッドクラウドで利用できます。HPE GreenLakeでは、パブリッククラウドサービスとオンプレミス ワークロードに対応するインフラストラクチャの両立を、完全管理型の従量制課金モデルで実現します。

ITファイナンス ソリューションなどその他のサービスについては、[こちら](#)をご覧ください。

適切な購入決定を行います。
プリセールスのスペシャリストにお問
い合わせください。



今すぐチャット



今すぐ共有



アップデートを入手

**Hewlett Packard
Enterprise**

© Copyright 2022 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

部品/部材: HPEは、保証対象のハードウェア製品の保守に必要となる、HPEがサポートする交換用部品および部材を提供します。

メーカーの操作マニュアル、製品のQuickSpecs、または製品のテクニカルデータシートに記載された、サポートされている最大ライフタイム、最大使用限度、またはその両方に達した部品およびコンポーネントは、このサービスでは提供、修理、または交換されません。

画像は実際の製品と異なる場合があります。
PSN1008615884)PJA, July, 2022.